

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

「恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」 9条と25条は平和的生存権の具体化

今あらためて憲法について考える 福祉関係者の集い

1月28日、今あらためて憲法について考える福祉関係者の集いが大阪社会福祉指導センターで行われ、77人が参加しました。この集いは、憲法9条・25条を守る大阪の障害者・府民の会と、「福祉人材問題検討会」が共催で開催しました。「福祉人材問題検討会」は、全国福祉保育労働組合(福保労)大阪地方本部が中心となり、福祉人材問題や福祉制度改善などをテーマに学習交流や運動をすすめています。

集いでは、障害当事者をはじめ、医療・福祉の現場で働く労働者などから社会保障削減のリアルな実態が訴えられ、二宮厚美さん(神戸大学名誉教授)が憲法を基底にした福祉事業・福祉労働の再生をめざしてと題して記念講演を行いました。



講演する二宮厚美さん

9条と25条を 一体としてとらえる

「2018年は憲法改正をめぐって関ヶ原の大合戦が始まる年だ」と述べた二宮さんは、憲法25条と憲法9条との一体性をとらえておくことが重要だと訴えました。その上で、日本は、9条に基づく平和国家であり、同時に25条の生存権保障条項にもとづく福祉国家でもある。このことは憲法前文、われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」の部分に明確に示されていると述べました。

現物給付原則はなぜ重要か？

25条第1項は、すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあり、第2項は、国は、すべて

二宮さんは、何がこの人に必要な保育・教育・医療・福祉等のサービスなのか、専門家としての福祉労働者・教員・医療労働者が判断するというのが専門性である。この専門性を賃金等の労働条件の上で保障しなければならぬ」と述べました。

現金を渡して、あなたが必要と思うサービスはこれで買いなさい」と言つのは市場取引と同じで、安倍政権はこう

国民の生存権が脅かされている

記念講演に先立って、1型糖尿病患者会、近畿つぼみの会「日本てんかん協会大阪府支部」大阪肢体障害者団体連絡協議会「大阪医療労働組合連合会」福保労西淀川福祉会分會みどり保育園「社会福祉施設経営者同友会」の代表

ての生活面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と定めています。二宮さんは、憲法の福祉原則として、必要充足と応能負担の二つをあげ、特に必要充足原則から生まれる社会サービス労働の現物給付原則の重要性について論じました。

いう仕組みづくりを目指しています。介護・障害者・保育の分野では、残念ながら現物給付原則が崩れてしまつたと、二宮さんは批判しました。福祉労働再生のため、憲法上最も重要なことについて二宮さんは、人間のニーズに即して専門(家労働者)が当事者と合意しながら働きかける。この仕事をやる労働者の身分や賃金を保障することが、将来の日本の福祉制度の決定的な力となる。その方向に向かって歴史は前進するなどと述べ、参加者を励ました。

6人が発言しました。

各団体の代表は、障害基礎年金や生活保護の改悪で生活は成り立たない「障害者枠での就労では賃金が少なく自立できない」「公的保育制度が危機に瀕している」など、国民の生存権が侵害されている深刻な実態を生々しく語りました。



アフリカ東部に位置するソマリアは、1991年に内戦で中央政府が崩壊し、無政府状態に陥りました。それ以後も治安の悪化は続き、今でも世界最悪の紛争地と呼ばれています。日本も2009年に成立した「海賊対処法」にもとづき、自衛隊をソマリア沖に派遣して、海賊対処行動を実施してきました。

そのソマリアで、ギャングやテロ組織から脱退した若者を、社会復帰できるように支援する活動にとりくんでいるNPO法人アクセプト・インターナショナルがあります。武力ではなく平和的アプローチでテロと紛争の解決をめざし、排除や武力での駆逐ではなく、アクセプト受け入れる」という姿勢を活動の軸にしています。ソマリアの若者は、激しい内戦で故郷を離れるを得なくなり、移住先でも厳しい生活を強いられています。そのため、生きるためにギャングになったり、過激派武装勢力に勧誘されてテロリストになるしか無いところまで追い込まれています。

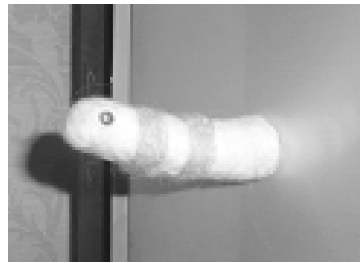
ギャングやテロ組織にいた若者を救おうという活動は、なかなか共感されません。しかし、紛争やテロが無くならない限り、難民や女性の人権問題は解決しないのも事実です。そんな思いでギャングだけのサッカーチームをつくり、自分たちのドキュメンタリー映画をつくるなどの活動を行ってきました。1年半のプロジェクトを修了したギャングのほとんどは、自発的に犯罪行為を行うことは無いといえます。

「最終的なゴールは世界平和です。将来はテロと紛争を解決する真のプロになりたい」代表理事を務める日本人青年は、熱く決意を語っています。

全国障害児学級・学校交流集会に参加して(感想その2)

羊毛フェルトでチンアナゴを作ろう

校外学習で行った二フレルで、チンアナゴがとってもかわかったことを思い出し、すぐに申し込みました。期待していた通り、とても楽しい内容で、わかりやすく丁寧にお教えくださり、ありがとうございました。かわいいチンアナゴが出来上がりました。ぜひ授業に取り入れて、「今度は子どもたちと一緒に楽しみたい」と思いました。



冷蔵庫にひっついてるチンアナゴマグネット

古都奈良での素敵な一日

正月早々なので、最初は参加するかどうか迷いましたが、思い切って参加させてもらってよかったです。摂津支援学校からは小学部12名で参加しました。和菓子作りを楽しんだり、分科会では他府県の先生方の実践を聞いて刺激を受けたりして、とても充実した時間でした。

そして、しっかり学習した後は、お待ちかねのおいしい食事と普段はなかなかできない交流やおしゃべりの楽しいひとときを楽しみました。

古都奈良での素敵な一日となりました。

(摂津支援分会 A)

学んだことを職場に持ち帰る

性教育について学びたくて、2日目の講座と分科会に参加しました。性教育のネライのひとつ、「命は大切なもの、自分は大切な存在と知ること」との千住先生のお話が印象的でした。「問題行動」に対し、対処療法的な指導に終始しがちな中、

「幸せに生きるためにどのような力を育てるのか」を考えることができた有意義な一日でした。

学んだことを職場に持ち帰り、先生方と話し合ったいこうと思います。

(吹田支援学校分会 井上雅晴)

本もたくさん買いました!

初めて参加したのですが、全国から参加されていてみなさんの学ぼうとする意識にまず刺激を受けました。私は千住真理子さんの性教育の講座に午前午後ともに参加しました。夏に千住先生の研修会に参加し、2学期にそこで学んだことを実践しました。今回の研修をうけて実践したことがよかったですと再確認することができました。

私より若い先生がすばらしい実践を報告しているのを見て、さらなる創作意

欲がわきました。本もたくさん買って、有意義な時間でした。

(交野支援学校四條畷校分会 高井綾子)

教職員組合ならではの深い学び

今回は2日目の講座・分科会に参加しました。午前の国語の講座では、物語文の実践をたっぷりとききました。自分の感想と友だちの感想を比べ合う、登場人物の気持ちをオリジナルセリフとして表現する、登場人物相関図づくり、情景を描写でビジュアル化する、そして仕上げは音読発表など、まさに全身をフル回転させて、子どもたちが物語と向かい合っただけでいる感じがよくわかりました。ともに参加した同僚とも、「物語文の授業がしたいね」「国語科の授業の自主的交流したいね」などと語り合いました。

午後、保護者との共同の分科会に参加しました。私は、「東大阪の障がい児教育をよくする会」という団体の事務局をやっている、保護者とともに学校建設運動を進める中で、いろいろなことを経験させてもらっています。レポート報告は、

滋賀の病弱児学校を守る取り組み、埼玉の学校建設の取り組み、京都の寄宿舎を守る取り組みで、「うんうん、そつだよな」「すごいな、がんばってるな」と共感しながらそれぞれの報告をききました。全国いたるところにたたかいている、子どもたちを守るために本気で保護者と教職員が手を

なぎ合っていることがわかり、勇気づけられました。毎年のようにこの全国集會に参加していますが、教職員組合ならではの多様な深い学びができる場だと、今回も改めて実感することができました。

(東大阪支援学校分会 杉本琢哉)



全体会の様子

HPの引っ越しについて

2月末で、biglobeのHPサービスが終了します。それに伴い、HPを引越させました。2月末までは現行のHP(biglobe)も公開させ、引っ越し先へのリンクを貼りつけておきます。

引っ越し先
<http://fc06331220171211.web2.blks.jp/>

